

令和5年度:
 学校名: 茅ヶ崎市立円蔵中学校

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	地域環境について興味関心を持ち、自分たちの手で守っていこうという気持ちを育てます。	1	地域環境学習(地元企業の環境への取り組みを知る)	1学年職員	生徒 教職員	総合的な学習の時間の中で講師を招き、地域の自然観察を行い、地域の環境保全につながる活動に興味・関心を持つことができた。 総合的な学習の時間の中で講師を招き、生活に密着した、環境美化の活動を体験することにより、地域の環境保全につながる活動に興味・関心を持つことができた。 生徒会より呼びかけて登校時に通学路のごみ拾いを行う活動については、今年度はコロナ禍もおさまったので、再開している。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 総合学習を授業計画どおりに実施することができた。また事後学習で作成した生徒たちの成果物も充実した内容にできた。 【今後の課題】 コロナ感染症により中止していた環境教育に関わる活動を再開させたが、定着していたことが中断したためそのやり方などについてまた一から始めるような難しさを感じた。 【次年度への引継ぎ事項】 総合学習の環境分野の学習について日程変更などがあるので、確実に担当で引き継ぎ、講師依頼につなげたい。
		2	地域環境学習(川の調査、自然観察、竹林の手入れ、樹木のはたらき、川のはたらき)	2学年職員	生徒 教職員		
		3	地域環境美化学習(下水処理・水道・資源物のリサイクル学習、エコクッキング体験などのエコ学習)	1学年職員	生徒 教職員		
		4	地域環境美化活動(「きれいきれいマンデー」～登校しながらのごみ拾い)	生徒会担当職員	生徒 教職員		
電気、水、物を大切に使う活動	身近なことから意識を持って、行動する姿勢を育てます。	1	明るさを考え、教室や廊下の電気をこまめに消す。使用していない教室の電気を消す。(減CO2大作戦)	生徒会担当職員 生活委員会職員	生徒 教職員	「減CO2」大作戦と称するエコ活動を生徒会の生活委員会を中心に取り組むことができた。具体的には教室、廊下の電気をこまめに消したり、エアコンを適正使用したりすることなどを呼びかける活動や、そのためのミニポスターをスイッチ付近に張り出す活動などを行った。 節水の呼びかけを生徒会の生活委員会を中心に行い、そのためのミニポスター等を作成し、水道場の蛇口付近に張り出す活動を行った。 学校管理部職員を中心に裏紙使用を全職員に呼びかける活動を行うことで、裏紙使用を習慣化することができている。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 「減CO2」大作戦の名称も定着化して、生徒の日常的なエコ活動に対する意識も高まっている。 【今後の課題】 日常のエコ活動を形骸化させないようにするための工夫ある取り組みが望まれる。 【次年度への引継ぎ事項】 生徒会の常任委員会の担当教諭の間での引き継ぎになるが、日常のエコ活動の成果を定量化、可視化できないか、検討を行う。
		2	エアコンの温度設定や適正使用の点検をする。省エネ活動啓発ポスター等を作成し啓発する。(減CO2大作戦)	生徒会担当職員 生活委員会職員	生徒 教職員		
		3	水道を使った後蛇口をきちんと閉める。節水啓発ポスター等で啓発する。	生徒会担当職員 生活委員会職員	生徒 教職員		
		4	印刷やコピーの無駄をなくす。合わせ印刷や裏紙でテスト印刷等呼びかける。	学校管理部職員	生徒 教職員		
捨てるごみを減らす活動	よりよい環境を目指して行動しようとする思考を育てます。	1	プリントなどをごみとして出さない。裏紙印刷等の再利用を推進する。	学校管理部職員	生徒 教職員	ごみの削減、ごみの再利用をテーマにした活動を各担当職員が中心になって行った。 リサイクルについては、生徒会の福祉委員会が中心になってペットボトルキャップの回収活動を行い、成果を上げることができた。 ごみ分別については生徒会の保健委員会が中心になって活動を行い、ごみ出しの適正化に貢献することができた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 それぞれの活動によりごみ分別の適正化をすすめ、生徒への意識付けも図ることができた。 【今後の課題】 日常のエコ活動を形骸化させないようにするための工夫ある取り組みが望まれる。 【次年度への引継ぎ事項】 エコキャップ運動については担当の福祉委員会が委員会の統廃合によりなくなるため活動休止となる。
		2	落とし物を減らす。各クラスへの伝達と報告に努める。	生徒指導部職員	生徒 教職員		
		3	エコキャップ運動を継続して行っていく。	福祉委員会職員	生徒 教職員		
		4	ごみの分別をする(捨てるごみとリサイクル資源の分別をする)。	保健委員会職員	生徒 教職員		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

譜久山 文野

【今後の方向性について】

- ・生徒会の重点項目として、「減 CO²大作戦」への取組の意識向上を目指す。
- ・全校で物を大切にし無駄を減らす意識を高めることで、電気や水道使用量、ゴミの減量化に努める。
- ・地域や保護者の参加を目指し、さらに方策を検討する。
- ・今後、内容も含め、どのように学習を計画していくかなど検討をしていきたい。